

チャイルドブック活用ガイド

2022

えほんとほいく

9



全員！ポストカードプレゼント！

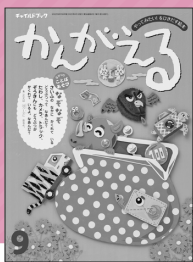
左の二次元コードからアンケートにお答えいただくとポストカード2枚セットをプレゼントいたします！
(応募締め切り 2022年10月31日)

総合保育絵本の
活用のヒントを
動画で紹介！

チャイルドブックをもっと楽しむ
読み方・使い方 
POINT 



ぜひ、
こちらから
動画をご覧
ください。



チャイルドブック

かかんがえる

指導 / 木部秀子
〔「はいくえほん」研究会〕

わくわく しゃかい クイズ
(1～10 ページ)

どうぶつえんの おいししゃさん



9月20日から26日の動物愛護週間は動物の命を大切にすることを考える週です。絵本を通して、動物園の動物たちの健康管理について知り、園や家庭などで生き物に接した際に命の大切さについて考えるきっかけになるとよいですね。

みの まわりの なぜなぜ
(11～14 ページ)

くつの うらの でこぼこ、どうして あるの？

読む
とき

でこぼこの意味について考えるきっかけに。



靴の裏のでこぼこの写真をよく見て、その意味について問いかけ、読み進めていきましょう。実際に履いている靴の裏を見ながら読んでよいですね。でこぼこがある靴を履くことで、滑らず安心して遊べたり出かけたりすることができます。さまざまなでこぼこをきっかけに、身の回りに便利で安全に過ごせるような工夫があることに関心がもてるとよいですね。

読んだ
あと

身の回りのでこぼこを体験してみましょう。



クラスで、それぞれの靴の裏がどうなっているのを見くらべてみてもよいですね。模様が同じものや違うものがあったり、大人の靴とくらべたり、どれが一番滑りにくそうか考えてみると、興味が深まると思います。実際にでこぼこのついた軍手をして段ボール箱を持ってみたり、ペットボトルのふたの開け閉めが楽にできるかなどのでこぼこの体験を試してみてもよいでしょう。また、持ち物や園のなかで滑らないようになっているところを見つけてみましょう。マットや遊具、箸、靴下など、普段気にしていなかったところででこぼこの発見があると思います。身の回りの工夫を実感して知ることができると思います。



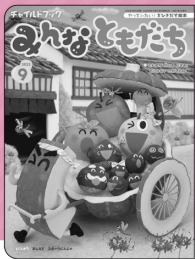
チャイルド本社のホームページに「かかんがえる」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社

検索

※ 表紙の二次元コードからもアクセスできます。

指導計画の週案・日案文例は16ページへ



チャイルドブック

みんなともだち

指導 / 柴宮佑介
(Kids Island うちがしま)

とくしゅう
(2~11 ページ)

おしえて スポーツにんじゃ

忍者を話題にして、雰囲気作りをしましょう。

みんなは忍者が使う術って知っている？

空を飛ぶとか？

隠れる術があるよ。

忍者が出てくるの？

ニンニン！これから絵本を読むてござる〜。

ニンニン！

忍者への関心を高めて読み始めるとよいですね。

忍術を教えてくれるのはスポーツ忍者でござる。

どんな忍者かな？

やった！

読んだあとに…折り紙などで鉢巻きや手裏剣を作ってみましょう。

手裏剣を投げるまねっこをして術の修行をすると楽しいですね。

先生の手裏剣、よけられるかな？

ジャンプしてよける！

てんぐりがえしてよけるよ！

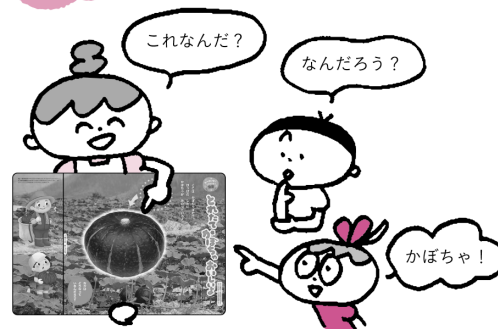
● 手裏剣などのなりきりグッズを作って体を動かす遊びにつなげると、より盛り上がると思います。跳び箱や平均台、けんけんぱなども「忍術の修行をしよう！」と呼びかけて楽しい雰囲気の中へ行ってみてください。

食べたいな！ しりたいな！ 食育
(14~18 ページ)

とれたて かぼちゃ おいしいよ

読む
まえに

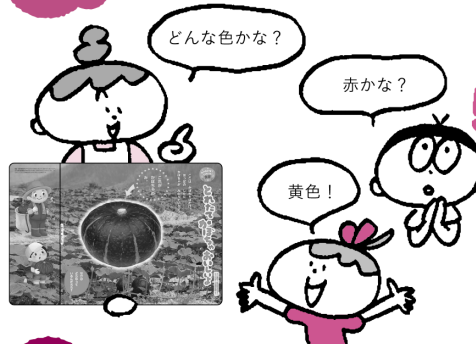
子どもたちの声を引き出しましょう。



給食やお弁当でなじみのあるかぼちゃですが、切る前のかぼちゃを見たことがないという子どももいるかもしれません。絵本を開いて「これなんだ？」と聞いてみましょう。

読む
ときに

予想しながら読んでいきましょう。



かぼちゃの実の様子を確認したら、ページをめくる前に切ったあとの予想を聞いてみましょう。「どんな色かな?」「種はあるかな?」などと細かく質問するとより声が出やすいでしょう。たくさん意見が出たあとに、みんなで切るまねをしてからページをめくると盛り上がると思います。

読んだ
あとに

製作に発展してみましょう。



かぼちゃを用意できるのであれば、実際に触れてみましょう。実物をもとに絵を描いたり造形したりして製作につなげると楽しいですね。子どもたちの自由な発想を大切に製作を楽しみましょう。



チャイルド本社のホームページに「みんなともだち」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社

検索

※ 表紙の二次元コードからもアクセスできます。

指導計画の週案・日案文例は17ページへ



チャイルドブック ジュニア

指導 / 水野絵里
〔「はいくえほん」研究会〕

のりもの
(2～7ページ)

すごいぞ！ しょうぼうじどうしゃ



■ 町中を走る消防自動車や消防士が、みんなの町を守ってくれていることを知らせましょう。そして、そのおかげで毎日安全に、安心して過ごせることも伝えていきましょう。

せいかつ
(8～14ページ)

きょうは ひなんくんれん

読む
まえに

地震について関心を高めましょう。



「みんなはお部屋の中で地震が起きたら、どうしたらいいと思う？」と子どもたちに聞いてみましょう。突然の地震に、どのように行動するとよいのか関心が高まるように進めていきましょう。

読む
ときに

プリンちゃんたちを見て、避難時の行動を確認しましょう。

プリンちゃんやキャンディーくんたちが大事な頭を守っていることに注目しましょう。また、「おはしも」の約束を守ると、けがなく、安全に避難できることを伝え、安心できるようにしていきましょう。

読んだ
あとに

避難訓練の目的や必要性を伝えましょう。



避難訓練は、地震が怖いと思わせるのではなく、地震がいつ起きても怖くないようにするための練習だということを伝えていきましょう。そのため、日頃から「おはしも」の約束を繰り返し伝え、落ち着いて避難できるようにしたいですね。

▶ チャイルド本社のホームページに「ジュニア」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社 検索

※ 表紙の二次元コードからもアクセスできます。

指導計画の週案・日案文例は18ページへ



チャイルドブック

指導 / 瀬川未佳
 (「ほいくえほん」研究会)

うたのえほん・シールであそぼう
 (2~5ページ)

とんぼのめがね

ゆったり歌の世界を楽しんだあとは、シール遊びです。シールのとんぼを1匹、指先に付けて飛ばすまねっこをしましょう。

どこへお散歩しようかな。

あ、高い塔があるよ。あそこに行ってみようっと!

みんなもお散歩させてみたい?

さすーい!

すーい すーい どこに行こうかな。

お友達のとんぼだ。こんにちは!

さらに...

とんぼのめがねって、いろんな色があるね。

めがねの色が変わったら見え方が変わるのかな?

そんな言葉かけをして、「とんぼのめがね」を取り出します。

先生の大発明! 「とんぼのめがね」!

「とんぼのめがね」の作り方

1. 厚紙で、めがね型の形を2枚切り抜きます。
2. カラーセロファンを挟んで絵のように貼ります。
3. 持ち手を付けたらできあがり。

わあ、みんな赤くなったあ。

さまざまな色で作って遊んでみましょう。

■ 「黄色いめがねでのぞいたら、どんなふうに見える?」「青だとどうかな?」「黄色と青を重ねて見たらどんなだろう?」など言葉かけをしながら、見える色が変化する遊びを楽しみましょう。

かんきょう
 (6~8ページ)

ねむい ねむい

読む
 まえに

手踊り人形との会話を導入に。



手踊り人形のごりくんを登場させます。「しつもんーん! ぼくはママといっしょに寝るんだけど、みんなは誰と寝るの? どこで寝ているの?」とごりくんが聞くと、子どもたちからは、「パパと」「ベッドで寝る」「お布団でお兄ちゃんといっしょに」など、さまざまな声が上がるとして、「じゃあ、もう1つしつもんーん! ペットを飼っている人はいるかな?」「ペットはどこで寝ているの?」と聞き、「ねこがいるよ」「いつもママのお布団に入って寝てる」「そうかあ、あったかそう」などとていねいにやりとりをして会話を楽しんだあとで、「あ、なんだか絵本からぐうぐうって寝ている声するよ、動物さんたちみたい。そっと見てみようか」などと言ってページを開き、読み始めましょう。

おはなし
 (15~25ページ)

おはぎ できたよ!

読む
 ときに

本物の小豆を見せましょう。



15ページの文章を読んだら、「赤いお豆って、みんな見たことあるかな? きょうは本物の赤いお豆を用意してきたよ。触ってみようか」と言って、箱に入れた小豆を見せましょう。子どもたちの反応を受けとめてから、「このお話のおばあちゃんはね、おなべてぐつぐつ煮るんだって。どうなるかな。絵本を読んでみようか」と言って、絵本に戻ります。
 ※小豆を見せるときは、口に入れないように言葉かけをしましょう。

▶ チャイルドブックのホームページに「ぶう」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社 検索

※ 表紙の二次元コードからもアクセスできます。

指導計画の週案・日案文例は19ページへ



サンチャイルド ビッグサイエンス

『ふしぎ はっけん！
しぜんから まなんだ ちえ』

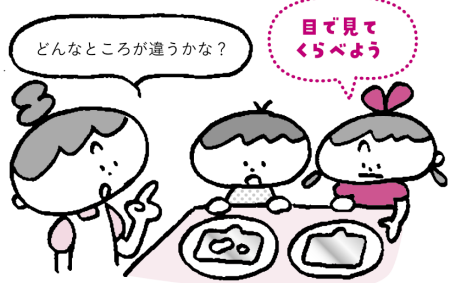
指導／瀬川未佳
（「ほいくえほん」研究会）

保育で絵本を楽しむコツ

自然の生き物に備わる不思議を解き明かしてみると、驚くような機能が発見されることがあります。そして私たちの身の回りには、それをヒントに開発された商品があるのです。実際に観察したり、試してみたりしましょう。

ヨーグルトの蓋くらべ

市販されているヨーグルトを何種類か用意しましょう。（国内メーカーの物と海外メーカーの物を用意するとよいです。）そして「蓋の裏にヨーグルトはくっついているかな？」とみんなで開けてみてから、ヨーグルトがくっついた蓋とつかなかった蓋に分けて、2つをくらべる次のような活動をしてみましょう。



虫めがねで観察しよう

オナモミの実やマジックテープなどの絵本の中に出てきた物を実際に虫めがねで観察してみましょう。ハスの葉などは、虫めがねでのぞいただけでは、凹凸がわかりませんが、さらに拡大して見ると観察できることなども、話すとよいでしょう。

また、子どもたちが日頃から不思議と思っている物などを、虫めがねでのぞいてみてよいですね。



10月号のお知らせ

『りんご りんご おおきくなあれ』丸くて真っ赤で甘いりんご。子どもたちに身近な果物です。どんなふう育てられるのか、りんご畑の一年を追いました。

作者インタビュー



かんのゆきこ先生

もこちゃんチャイルド9月号
『もぐらもぐもぐ』
作・絵／かんのゆきこ

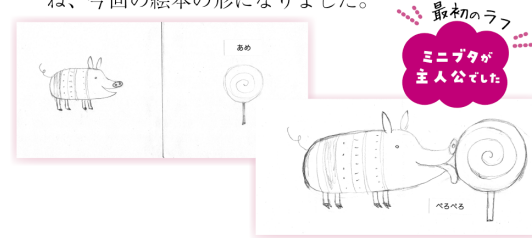


今回のお話を作られたきっかけを教えてください。

『宮沢賢治のオノマトペ集』（ちくま文庫）を読んでいたとき、音の言葉と絵が同時に浮かんできました。自然と声に出して読みたくなるし、絵本にしてみたらおもしろいかも…と思ったのがこの絵本を作ったきっかけです。

制作中の秘話があれば教えてください。

ももとは主人公のミニプタがいろいろな食べ物を食べるお話でした。ただただ食べるだけなのでオチもなく、何か物足りない…。再考に再考を重ね、今回の絵本の形になりました。



今回、表現でこだわられたところがありますか。

当初のラフでは、食べる場面にも背景がありました。でも、何度も再考していく過程で、食べる「音」を強調するために背景をなくすことにしました。余計な物が目に入ることのない、すっきりした画面にすることで、前の画面からパッと印象が変わり、「音」の表現に焦点があたるようになりました。おもしろい効果が出たかなと思います。

もぐらくんがパンを食べるシーンの当初のラフ



日頃から絵本を作られるときに、大事にされていることはありますか？

子どもも大人も楽しめる絵本、読み終わったあとに余韻（よこな）が残る、もう一度開きたくなる絵本作りを心がけています。そして、いつも飾っておきたくなるような美しい色、きれいな見た目の絵本を作りたいなと思っています。

絵本作家になられたきっかけを教えてください。

イラストレーターをしながら作品の制作もしているのですが、以前は銅版画の制作もしており、初めて個展を開いた際に、見に来てくださった出版社の方に声をかけていただいたのがきっかけで絵本作家デビューとなりました。最初の絵本作品はベテラン作家の先生が文章をお書きになった「命のつながりの大切さ」がテーマのお話でした（『おじいちゃんは106さい』作／松田もとこ・ポプラ社）。全ページ銅版画の絵で、全15見開き。今、改めて振り返っても一番大変な絵本制作でした。その後重版を重ね、担当編集者の方に「お話も作ってみてください」とご依頼をいただきました。今では作絵の作品のほうが多いかもしれません。

保育現場の先生方へメッセージをお願いします。

読み聞かせの際、食べる音の読み方を時々変えたりして、子どもたちの反応を楽しんでみるのも楽しいかなと思います。「もっぐもぐ」とか「もぐもぐもぐもぐ〜〜〜」とか、文章そのままじゃなくてもいいと思います。絵本でいっぱい遊んでくださいね。

かんのゆきこ

神奈川県生まれ。主な絵本の作品に「だいすきぱっとけーき」「ベコベコざかな」（以上、岩崎書店）、「ぼくのきいろいくつした」（アリス館）、「しろくまのこのあななあな？」（大日本図書）、「むしのチロリンコンサート」（教育画劇）、「へんしんねこた」（ポプラ社）、児童書の挿絵に「ココロ屋」（文研出版）などがある。

読み聞かせワンポイントアドバイス



徳永 満理
(とくなが・まり)

福岡県出身。子どもの発達をふまえていい保育のなかで50年読み聞かせの実践を重ねる。社会福祉法人おさなご保育園園長を経て、現在は同園の理事長。元兵庫大学短期大学部専任講師、あかし保育絵本士養成講座講師、兵庫子どもと絵本の会顧問。著書に『絵本と子どもが会ったら』（鈴木出版）、『絵本でひろがる子どものえがお』（高山智津子氏と共著）『よくわかる0～5歳児の絵本読み聞かせ』（以上、チャイルド本社）、『赤ちゃんにどんな絵本を読もうかな』（かもがわ出版）、絵本に『はるちゃんのぼんぼりぼうし』（ひさかたチャイルド）、『ゆうちゃん』シリーズ9冊（アリス館）などがある。



もこちゃんチャイルド

もぐら もぐもぐ 作・絵/かんのゆきこ

動物が好きで、食べることも好きな子どもたちが喜びそうなお話です。簡単な言葉遊びも楽しめるようになってくる時期なので、動物たちが食事をするときの擬音語と名前の音の重なり気づけるように、同音部分を強調して読みましょう。

タイトルから臨場感を込めて読み、「みんなどうぞ」と、子どもたちにもまねてして言うてもらいましょう。もぐらくんが…、つるさんが…と読み進めていくと、ぞうさんのところでは、「『ぞぞぞぞ〜う』じゃない?」などと先読みできる子もいるかもしれませんが。子どもたちの声を受け止めてから、ちょっと間をもたせてページをめくり、「あたり! すごいね」と共感しましょう。最後のぶたくんがおならが出してしまう場面では、

子どもたちは大笑いして喜ぶことでしょう。読み終わったら、おいもを食べるまねっこをして、おならの音ごっこをして遊んでみましょう。



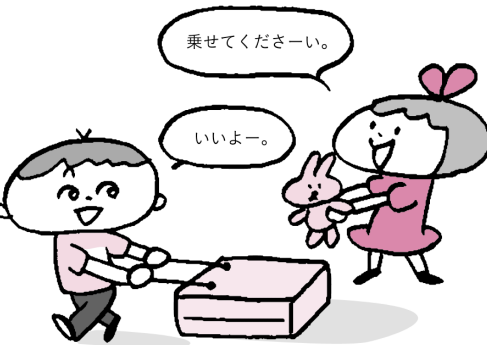
チャイルドブックアップル

たっくんのかごぐるま 作・絵/ようふゆか

自分だけの、自分専用のものがあることがうれしい子どもたち。たっくんの気持ちに共感できることでしょう。かごぐるまの車輪の動く音が心地よいです。のんびり、のどかな雰囲気、軽やかに読みましょう。

いろいろなことで困っている動物たちを、かごぐるまに乗せて運んであげる親切なたっくんがすてきです。気持ちを込めて読みましょう。かえるさんとかめさんとの出会いは明るく、うさぎさんとの出会いは優しさを込めて、お母さんぶたとこぶたちゃんたちとの出会いは力強くというように、メリハリをつけて読みましょう。絵の描き込みも楽しいです。ゆっくり見せてあげましょう。

読み終わったら、もう一度最初から見てみると、



おはなしチャイルド

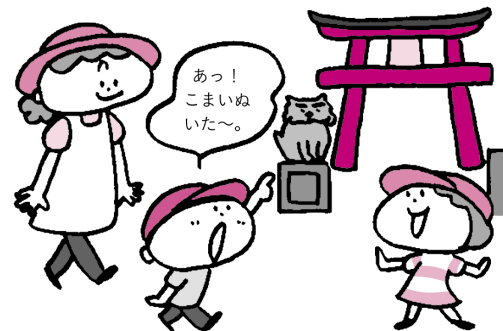
こまいぬ ぼしゅうちゅう

作・絵/尾崎玄一郎 尾崎由紀奈

戸外にお散歩に出かけると、よく不思議なものとの出会います。神社で向かい合って座っている2対のこまいぬに遭遇することもあるかもしれません。ちょっと怖いけどおもしろい絵と文章です。怖いもの好きの子どもたちが喜びることでしょう。ハラハラドキドキの展開をたっぷり楽しめるように、メリハリをつけて読みましょう。

前半は、大声を出すいばりんぼの「あーあ」と、口をつぐんでいる「うんうん」の性格の違いがよく分かるように、声色を変えて読みましょう。中盤は、「うんうん」の代わりがつつぎと登場するのがおもしろいです。いばりんぼの「あーあ」らしさを出してみてもよいですね。後半の賽銭泥棒の登場場面は、緊迫感を出して読みましょう。

読み終わったら、「あーあ」と「うんうん」の気持ちを話し合ってみましょう。近くに神社があれば、お散歩に出かけてみるのもよいですね。





おはなしチャイルドブックエストシリーズ

すずおばあさんのハーモニカ

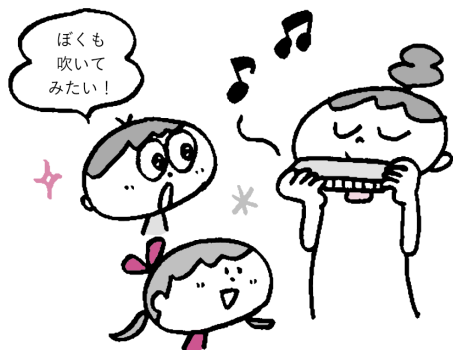
作/あまきみこ 絵/黒井 健

心地よい秋風のなか、ちょっと大人っぽいファンタジーに出会ってもらいましょう。すずおばあさんの優しさや幻想的な絵をたっぷり味わえるよう、静かな抑揚をつけて読みましょう。

どんなお話か想像が膨らむように、表紙からゆっくり絵を見せましょう。すずおばあさんの吹く“きらきらぼし”の音色は、おばあさんが間違えないようにゆっくり吹いている様子が伝わるように読むとよいですね。野原のなかでの、ハーモニカを通しての出会いが、幻想的で目が離せません。すずおばあさんとこぎつねの鳴らす音の違いを意識して、絵をゆっくり見せるようにして読みましょう。ハーモニカのとりかえっこをするすずおばあさんがすてきです。裏表紙の絵もゆっくり見

て余韻を残して終わりましょう。

読み終わったら、すずおばあさんやこぎつねの気持ちについて話し合い、そのあとは読み手がハーモニカを吹いて見せるのもよいですね。



チャイルドブックアップル 傑作選

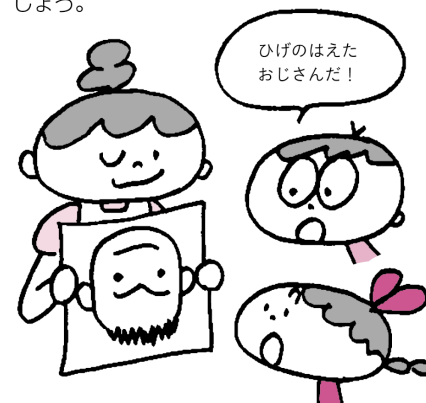
くるんちゃんの さかさてびっくるん

作・絵/若葉ひとし・きよこ

画面の絵からいろいろな発見をすることも、絵本を読む楽しみの一つです。一場面一場面ゆっくり見られるように工夫しましょう。

タイトルと表紙の絵にヒントが隠されているようです。ここからゆっくり見せてあげましょう。くるんちゃんが箱を開けるとお菓子が飛び出してくるという展開を楽しむためにも、しっかり事前読みをしておくことが大切です。何でもない箱や戸棚の場面から、次に向かう場面はすばやくめぐり、絵本をひっくり返すことを忘れないようにします。元に戻したら、出てきたものをゆっくり見て楽しみましょう。角度を変えてものを見る体験の繰り返しを通して、違ったものが見えるだまし絵のおもしろさを伝えられるとよいですね。

読み終わってから、上下逆さまにすると別の絵に変化するだまし絵を紹介するなどして楽しみましょう。



はじめましてのえほん

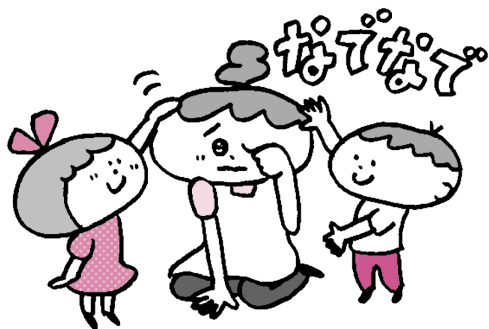
なでなで

作・絵/鈴木幸枝

子どもたちは、泣いたり怒ったりしていても、大好きな大人に“なでなで”してもらおうと、ご機嫌さんになってくれますよね。そんな子どもたちが共感して楽しめるお話です。

タイトルを読んだら、子どもたち一人ひとりの頭を“なでなで”してから読み始めましょう。「ないているのだあれ?」の問いかけで展開していくので、1・2歳児さんへの読み聞かせでは問いかけるように読んで、「いぬさん」などと子どもたちから答えが出るのを待ちましょう。対話のあとは、子どもたちに泣いている動物たちの頭を“なでなで”してもらってから、次のページに進みましょう。泣きやんだ動物たちがシーソーで遊んでいる裏表紙もゆっくり見て、余韻を楽しむようにしましょう。

読み終わったら、読み手が泣くまねをして、子どもたちに“なでなで”してもらうのもよいですね。



世界の昔話名作選

まほうのふて

文/西本鶏介 絵/太田大八

まだ字が書けなくても、自分の思いを絵に込めて描けるようになった子どもたちが、夢中になることでしょう。絵本から飛び出してきそうな、いきいきとした絵も魅力的です。マーリアンの快活さが伝わるよう、明るく、テンポよく読みましょう。

マーリアンが、夢の中でおじいさんから筆をもらうまでは、静かに話して絵本の世界に誘います。次の場面から、マーリアンが筆で描いた絵が本物となる不思議な展開に入ります。奇想天外なおもしろさが伝わるように、明るく弾んで読みましょう。権力者と対峙する場面はマーリアンの意思の強さが伝わるよう、はっきり力強く読みましょう。後半の役人たちとマーリアンの緊迫した展開には

圧倒されます。ハラハラドキドキ感が伝わるように読みましょう。

読み終わったら、感じたことを話し合い、役を決めて劇遊びに発展させてもよいですね。





チャイルドブックを活用するときの週案・日案文例



チャイルドブック

かんがえる

文例執筆 / 山本秀子 (東京家政大学准教授)

- 週案例**
- ・保育絵本を活用し、5 という数に親しむ。
 - ・保育絵本を活用し、防災の意識を高める。

日案例

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助など
特集 健人環言表 ①②③⑤⑥ ⑦⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● 動物園の獣医の仕事を知ること、職業への興味を深める。 ● 自分(人間)の命も動物の命も大切であるということを獣医の仕事から気づき、自分も病気にならないためにどんなことができるかをクラスで出しあい実践する。
身の回りの なぜなぜ 人環言表 ②③⑤⑥⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● どうして靴底にでこぼこがあるのか考えることをきっかけに、身の回りに滑らないためのさまざまな工夫があることに気づく。 ● つるつるとでこぼこの物を実際に触ってみて、でこぼこの滑りにくさを体感する。
お話 言葉遊び 人言表 ③⑥⑧⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● 絵変わりカードを使ってなぞなぞで遊ぶことで、言葉や言葉遊びへの興味を育てる。 ● 友達同士でなぞなぞを出し合いながら、言葉に関心を持ち、言葉を大切にすることを育む。
数・シール 環言表 ⑥⑧⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● あといくつで5になるか(合成)、5はいくつといくつに分けられるか(分解)を考えることで、足し算と引き算につながる考え方を身につける。 ● 「今いくつ?」「あといくつ?」といった言葉かけをするようにし、数を身近なものに感じる環境を保育に取り入れる。
小学校へ つながる生活 健人環言 ①②③④⑥ ⑦⑨	<ul style="list-style-type: none"> ● 地震が起きたら、どのように行動するべきかを場所ごとに考え、あらためて防災について意識を高める。 ● 避難するとき、その行動の意味も含めて意識して行動できるように、日頃の訓練時の声かけにも配慮する。

5領域

健健康 人間関係
環環境 言葉 表現

10の姿

① 健康な心と体 ② 自立心 ③ 協同性
⑦ 自然との関わり・生命尊重

※ここでは、月刊保育絵本を活用した指導計画の週案・日案の文例を提示しています。あくまでも例ですので、それぞれの園の環境や園児の状況に合わせてお使いください。

チャイルドブック

みんなともだち

- 週案例**
- ・保育絵本を、体を使った遊びの導入に活用する。
 - ・保育絵本を活用して、お月見の行事に興味をもつ。

日案例

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助など
特集 健人 ①③⑥	<ul style="list-style-type: none"> ● 体の動かし方のポイントを知り、全身を使って遊ぶおもしろさを体験する。 ● 保育のなかにさまざまな運動遊びを取り入れ、できた喜びや挑戦への意欲を高める。
シール 健人表 ①③⑥⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● かけっこの順位を考えたり、ダンスの音楽を想像したりして、運動会の楽しさを味わう。 ● 動物の仲間たちのシールを貼ることで、運動会は友達と楽しさを共有したり協力し合ったりする場であることに気づき、実践につなげる。
食育 健環言 ①⑦⑨	<ul style="list-style-type: none"> ● 夏から秋が旬のかぼちゃの特徴を知ること、食べたい気持ちを盛り上げる。 ● 給食や弁当にかぼちゃ料理があったときに絵本を振り返り、より身近に感じるとともに味わって食べる。
生活 人環言 ③④⑥⑨	<ul style="list-style-type: none"> ● 友達の不安な気持ちを受けとめ、応援したり励ましたりする大切さを感じる。 ● 励まされながら挑戦する経過を大切に、結果にとらわれず一人ひとりが挑戦したことをクラスの喜びとして共感できるように支援する。
お話 人環言表 ③⑤⑥⑦⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● 季節感のあるお話を通して秋の訪れを感じ、お月見の行事への興味を深める。 ● 物語のなかで繰り返し出てくる「ありがとう」の意味を子どもたちから引き出し、「ありがとう」を伝えたい人への製作などにつなげる。

④ 道徳性・規範意識の芽生え ⑤ 社会生活との関わり ⑥ 思考力の芽生え
⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨ 言葉による伝え合い ⑩ 豊かな感性と表現

※ここでは、月刊保育絵本を活用した指導計画の週案・日案の文例を提示しています。
あくまでも例ですので、それぞれの園の環境や園児の状況に合わせてお使いください。

チャイルドブック ジュニア

文例執筆 / 山本秀子（東京家政大学准教授）

日案例

- 週案例**
- ・保育絵本を活用し、身の回りの働く車に興味をもつ。
 - ・保育絵本を活用し、お月見の行事に関心をもつ。

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助など
自然 人環言 ④⑤⑥⑦⑨	<ul style="list-style-type: none"> ● いろいろな消防自動車の特徴を知り、働く乗り物に興味・関心をもつ。 ● 園外保育などで消防署を見学したり、消防士を招いて消防の仕事を知ったりする。
生活 健人環言 ①②③④⑤ ⑥⑨	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難訓練の様子を見て、避難するときの約束や方法を確認する。 ● さまざまな時間帯や環境での避難訓練を行い、振り返りをする。 ● 「お・は・し・も」が必要な理由をたびたび話し、子どもたちが自主的に守れるように働きかける。
お話 健人環言表 ①③⑦⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● お話を通してお月見について知り、行事の製作へとつなげる。 ● 園や家庭でだんごを作り、自分が作ったものを食べる喜びを感じる。
シール 人言表 ②③⑥⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● どの服が似合うか選び、体に合わせてシールを貼るなど試行錯誤しながら楽しむ。 ● ファッションショーのごっこ遊びへつなげ、自分が作った作品を発表する喜びや、友達の作品を見る楽しさを経験する。
食育 健人環言表 ①②③⑦⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● お米が稲からとれると知ること、自然の恵みに感謝する気持ちをもつ。 ● 園や家庭で自分で作ったおにぎりを味わうことで、感動を体験し、食への関心を高める。



日案例

- 週案例**
- ・保育絵本を活用して、食事のマナーを身につける。
 - ・保育絵本のお話を読み、行事食のおはぎに興味をもつ。

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助など
歌・シール 環言表 ⑥⑦⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な昆虫、とんぼに興味をもつとともに、秋の季節感を味わう。 ● とんぼのシールを貼りながら、歌の世界を楽しみ、空を自由に飛ば開放感を味わう。 ● 描かれたとんぼのめがねの色と形に注目し、身の回りにも同じ色、形があるか探してみる。
環境 健人環言 ①⑥⑦⑨	<ul style="list-style-type: none"> ● 動物たちが寝ている姿を見ることで、動物に興味をもち、眠ることの気持ちよさを感じる。 ● 動物の寝方を参考に、自分の好きな寝方をみんなで話し、園での午睡時や自宅で試してみる。
生活 健人言表 ①②③④⑤ ⑥⑨⑩	<ul style="list-style-type: none"> ● 食事のマナーを覚え、みんなが気持ちよく食べられるようにするにはどうしたらよいか考える。 ● ごりくんの行動で、どこがいけなかったのかを自主的に気づけるように、子どもたちの意見を引き出す。 ● 食事のマナーが守れていることを具体的にほめ、守れた感動を次につなげる。
お話 人環言 ③⑥⑨	<ul style="list-style-type: none"> ● 秋分の日行事食「おはぎ」に興味をもち、食べてみたいという意欲を高める。 ● 「おはぎ」の作り方を知ること、調理してくれた人への感謝の気持ちをもつ。

5領域

健健康 人間関係
環環境 言葉 表表現

10の姿

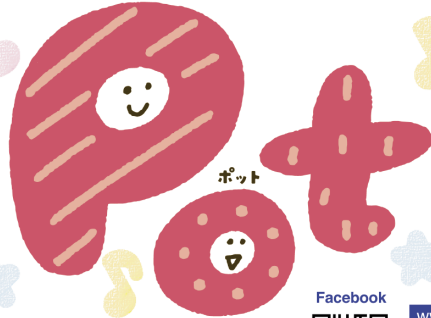
① 健康な心と体 ② 自立心 ③ 協同性
⑦ 自然との関わり・生命尊重

④ 道徳性・規範意識の芽生え ⑤ 社会生活との関わり ⑥ 思考力の芽生え
⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨ 言葉による伝え合い ⑩ 豊かな感性と表現

2022

9月号のお知らせ

チャイルドブックの月刊保育雑誌



読みやすさ
わかりやすさ
No.1

毎日の保育を
もっと Happy に！

Facebook

www.facebook.com/pot.childbook/
www.twitter.com/Pot_hennyubu

Twitter



Pot 公式 Facebook Twitter をチェック!



大特集&プチ特集のW特集で保育力アップ!

26×21cm 92ページ
定価1,100円(本体1,000円+税10%)

大特集 コロナ禍を経て 園行事について考えてみる

とじこみBOOK 「Pot 指導計画」 (10月の計画のヒント)



ワンテーママ たっぷり! じっくり!
サクッと読めてお役立ち!



行事特集 「言葉による伝え合い」を育てるには?



保育室飾りや0・1・2歳児、遊びプランなど内容充実!



秋の自然物で作ろう

いっしょに読むの、うれしいの。

